

A4

● いわむら かずお・プロフィール



1939年東京生まれ。東京藝術大学工芸科卒。絵本作家・作家。主な作品に『14ひきのあさごはん』（絵本・びんご）など『14ひきのシリーズ』。エリック・カールとの合作絵本『どこへ行くの？ To See My Friend!』（童心社）、『ひとりぼっちのいし、うれっしょ』（創成社/サンケイ児童出版文化室）、『かんがえるカエルくん』（福音館書店/講談社出版文化館本館）、『トガリ山のぼうけん』シリーズなどがある。98年栃木県高崎町（現・那珂川町）に『いわむらかずお絵本の丘美術館』を開館。絵本・自然・子どもテーマに活動を行っている。2014年、フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章した。

14ひきのシリーズ40周年記念 パネルセット 計7枚

1枚／A4サイズ (210mm × 297mm)
6枚／A3サイズ (297mm × 420mm)

A3

40年にわたって愛されるロングセラー
40 14ひきのシリーズ
いわむらかずお



家族といっしょ。自然といっしょ。

1983年7月、『14ひきのシリーズ』は誕生しました。
自然とともにくらす。野ねずみの大家族。
『14ひき』の物語は、国をこえ、世代をこえて愛されつづけています。

童心社

● 『14ひきのシリーズ』がうまれたとき

『14ひきのシリーズ』の発想は、私たちが家族の「ひっこし」からはじまりました。1970年、私が住んでいたのは東京、多摩丘陵の山荘でした。31歳の時です。両親には姉や妹や実家など回帰願望があらううちに残っていました。姉木村との再会が私の心にしまわれていた風景を呼び覚ました。

それはあの産院で産まれたあとの、家もなく食べるものもなくない貧しい子どもの時代。8年一泊に8人家族が暮らす狭い団地生活でしたが、両親が少しでも生活を改善しようとするまじまじと本をやるのを、小学生の私は見ていました。外に遊ぶには広い庭木で待たされた。いつも日暮れまで兄弟や出所の仲間と駆け回って遊びました。夏の夕暮れはヒグラシの声、秋を駆け抜ける風の音、山家の秋の味、目にしみる風景の記憶……

姉木村と再会しうれしくなって歩き回っているうちに、『14ひき』のイメージがふくらんでいきました。物語を語るうちに、これは自分にとって大切な作品になるに違いないと思うようになりました。私は主人公たちと同じような暮らしをしながら、この絵を描いていくと決め、物語を語る若い人たちが大好きな焼きものの町・金沢を選んでみました。この2度目の引っ越しは、自然のなかの私たち家族の暮らしと『14ひき』の世界を重ねることになっていきました。

1983年、『14ひきのひっこし』と『14ひきのあさごはん』が同時刊行されたシリーズが始まりました。それから40年、シリーズは12作となり、今も愛読を続けています。海外では、フランス、ドイツ、中国、台湾、スイス、ルーマニア、ベルギーなど16か国語で訳出され、読者は世界中に広がっています。

1998年、栃木県那珂川町に、家族や地元の人々と力を合わせて、『いわむらかずお絵本の丘美術館』を開館しました。絵本と自然の交差点がともにある、『14ひき』の世界の交差点ともいえる場所です。このごちうれしいのは、大人の読者の多くが子どもたちのころからの読者だということです。むかし好きだった絵本を我が子と共に楽しんでいる人たちが増えていくのです。親から子へへの継承、ロングセラー絵本ならではの結果なのでしょう。



● 14ひきを描くということ

いわむらかずおさんは、『14ひきのシリーズ』を描いていくとき、2つのことを大事にしたいと思っています。

ひっこしは、自然と暮らしを共にすること。野ねずみの家族、森の中、そこで暮らしている昆虫や動物など、作品の題材となる自然の描写を丁寧に描きます。14ひきの視点になり、たんぽぽを見上げて書いた『14ひきのびくびく』。誰かからの変化を何日も観察したという『14ひきのあつみ』など、自然と向き合う中で多くの作品が生まれました。



もうひとつは、『10ひきの子どもたちを描き分けるということ』。『14ひきのシリーズ』に登場するのは、いっくからとつくんで、個性豊かな10ひきの子どもたち。それぞれにモデルがらみわけではなく、自分の中に1ひき1ひきが生きて存在しているのだと、いわむらは言います。

『絵で語る絵本作家になった』といういわむらさん。『14ひきのあさごはん』のある場面で子どもたちの個性まできちんと描けたとき、『14ひきの絵本をつくっていくことができた』と嬉しそうでした。



● 知っていましたか？ 表紙とカバーの絵のひみつ

『14ひきのシリーズ』のどの作品も、表紙とそれにかかっているカバーの絵がうまいということ、みなさんはご存じですか？

14ひきものびが活躍するこのシリーズ、名前が書かれたカバーをはずして絵本といっしょに読めながら読むことができます。そのように読まれることを考えたとき、カバーと表紙が同じで読めなくなるというのではと心配されたら、どうなるか？ 読者の目から、カバーと表紙が同じで読めなくなるから、『14ひき』の物語ははじまっているのです。

● 14ひきのひっこし



● 14ひきのせんたく



● 14ひきのあさまつり



世界中で愛されて1,500万部！
14ひきのシリーズ

1983 14ひきのひっこし すてきな仲間を あつめよう！	1983 14ひきのあさごはん たのしいにちの はじまり	1984 14ひきのやまのこ 土のちから、 種このちから	1985 14ひきのさむいるゆめ あたたかさをのこす あまのこ
1986 14ひきのびくびく おべんとうもって 動物へでかけよう	1988 14ひきのあつみ まんまるおつきさま、 ありがとう	1990 14ひきのせんたく 川のあずき、かき、 きもちいい！	1992 14ひきのあさまつり 秋のもりで かきくみ
1994 14ひきのこもろくた いっしょに遊ぶ きもちいい！	1997 14ひきのあさまつり いっしょに遊ぶ、きもちいい！	2002 14ひきのあさまつり たのしいにちの はじまり	2007 14ひきのあさまつり あんなにうれしい！ もうすぐしょうごつ

● 14ひきの家族

みんなはだれがき？
『14ひきのシリーズ』のどの絵本に登場する絵か、さがしてみよう

